

7・25 第15回名曲を聴く会報告



梅雨明けの暑い中、国分寺稻門会の皆さんと一緒に11名のご参加

○ 7月25日(金) 午後1時より3時まで

○ 会場 国分寺「でんえん」

○ 曲目

「ベートーベン バイオリン協奏曲」

バイオリン Dオイストラフ

指揮 クリュイタンス 国立フランスラジオ管弦楽団

本日の日経朝刊に1955年日ソ国交回復前に来日して各地で演奏会

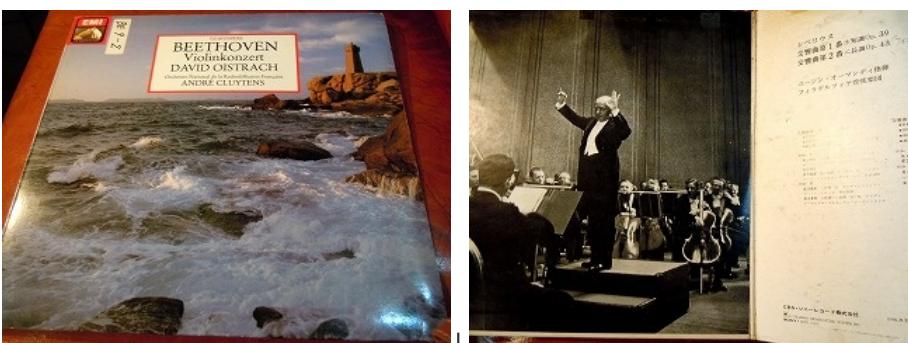
を開催した記事が出ていたが、あれから60年経過しているが、この
LPの演奏もすばらしいものであった。

「シベリウス 交響曲第二番」

指揮 オーマンディ フィラデルフィア交響楽団

イタリー滞在中に作曲された曲であるが、明るさではなく、祖国フィンランド
の哀愁を感じる曲である。

この曲の一部より交響詩フィンランディアが作曲されている。



○ 今回の参加者 荒木、井垣、穂積、小川 この他国分寺稻門会より会長他7名

(国分寺三田会2名を含む) 計11名。

○ その後近所のジャズ喫茶(国分寺稻門会会員がオーナー。生出演演奏)で歓談、5時に解散。

次回開催は9月26日(金) (8月は夏休みで休会します)

曲目 ① ラフマニノフ ピアノ協奏曲第二番

ピアノ クライバーン ライナー 指揮のシカゴ交響楽団

② モーツアルト 交響曲第41番(ジュピター)

指揮 ワルター コロンビア管弦楽団を予定。

(文:小川 写真:荒木)